

製品安全データシート

1. 製品および会社情報

製品名 **Bクリーナー**
会社名 株式会社リンレイ
住所 〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目10番13号
担当部門 秦野工場 生産技術課
電話番号 0463-81-5455
FAX番号 0463-82-4700

2. 組成、成分情報

単一物質／混合物の分類 混合物（液体）

環境ホルモン疑義物質	原料として使用していません
化学物質管理促進法（PRTR 法）規制該当物質	原料として使用していません
シックハウス・シックスクール配慮（VOC の使用）	この製品には、室内空気汚染の原因とされる厚生労働省指針値該当 13 物質成分を原料として使用していません
改正建築基準法における建築内装材の規格	当該法律に言う建築材料には該当しません ホルムアルデヒド放散速度は、 $5\mu\text{g}/\text{m}^2\cdot\text{h}$ 以下（JIS A 1901）です
学校環境衛生基準該当物質	原料として使用していません

<適用法令（項目 15）関連成分>

成分名

該当なし

<その他の成分>

成分名

- 非イオン系界面活性剤
- ビルダー
- アルコール系溶剤
- グリコール系溶剤
- 除菌剤
- 染料
- 水

3. 危険有害性の要約

- ・危険性 : 危険物に該当しない。
- ・有害性 : 標準使用濃度範囲では人体への有害性は低い。
- ・環境影響情報 : 原液および洗浄廃液を一般環境内に排出させない。

4. 応急措置

目に入った場合

- ・直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

- ・大量の水および石けん又は皮膚用の洗剤を用いて十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
- ・外観に変化がみられたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

吸入した場合

- ・本製品は揮発性の低い水溶性液体であり、蒸気吸入の可能性は少ない。
- ・然るに、吸入した場合には空気の清浄な場所で安静にする。
- ・必要があれば、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

- ・被災者に意識がある場合、水で口の中をよく洗わせ、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませる。
- ・被災者の意識がない場合、口から何も与えてはならない。また、吐かせてもならない。
- ・安静にして、直ちに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

使用可能消火剤：＊＊

消火方法：本製品は引火しない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

- ・作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。

環境に対する注意事項

- ・河川などへ排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
- ・地域の規則に従う。

回収方法

- ・多量に漏出した場合：土のう等で拡散を防止し、凝集・凝固剤等で凝集措置をした後、回収する。
- ・少量の場合：乾燥砂、土、ウエス等に吸収させて回収する。

7. 取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い

<技術的対策ならびに注意事項>

- ・換気のよい場所で取り扱う。
- ・保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
- ・一度、容器から出した液は元の容器へ戻さない。
- ・容器はその都度密閉する。

<安全取り扱い注意事項>

- ・水禁忌物質との接触を避ける。

保管

<保管条件>

- ・日光の直射を避ける。
- ・通風のよいところに保管する。
- ・火気、熱源から遠ざけて保管する。
- ・凍結に注意する。
- ・水禁忌性物質との同一場所保管を避ける。

8. 暴露防止および保護措置

設備対策

- ・屋内作業の場合、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられる設備とすること。

保護具

- ・目の保護：ゴーグル等を使用する。
 - ・皮膚および身体への保護：皮膚を露出しない着衣、化学薬品が浸透しない材質の手袋を着ける。
 - ・呼吸系の保護：保護マスク等を着用する。
-

9. 物理的および化学的性質（物性値は参考値）

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ・ 物理的状态 : 液体 | ・ 比重 : 1.00 (@25℃) |
| ・ 色 : 淡赤色透明 | ・ 水への溶解性 : 可溶 |
| ・ 沸点 : 約100℃ | ・ 引火点 : なし |
| ・ 蒸気圧 : ほぼ水と同等 | ・ 発火点 : なし |
| ・ pH : 7.0 (@25℃) | ・ その他 : 特になし |
-

10. 安定性および反応性

- ・ 安定性 : 一般環境下で安定
 - ・ 危険な反応 : なし
 - ・ 避けるべき条件 : 低温、高温となる環境
 - ・ 避けるべき材料 : 水禁忌物質との混合禁止
 - ・ 危険有害な分解生成物 : なし
-

11. 有害性情報

- | | |
|----------------|-------------------|
| ・ 急性毒性 : データなし | ・ 感作性 : データなし |
| ・ 局所効果 : データなし | ・ 慢性・長期毒性 : データなし |
-

12. 環境影響情報

- ・ 移動性 : あり
 - ・ 残留性／分解性 : データなし
 - ・ BOD : 1.2×10^5 ppm (JIS K 0102-21)
 - ・ COD : 1.1×10^5 ppm (JIS K 0102-17)
 - ・ 生体蓄積性 : データなし
 - ・ 魚毒性 : データなし
 - ・ その他 : 一般環境内には廃棄しない。
 - ・ 排水基準を定める総理府令別表第1に掲げる有害物質を含まない。
-

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

- ・ 廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
- ・ 容器、機器装置等を洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さない事。
- ・ 排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託する事。
- ・ 地域の規則に従う。

汚染容器・包装

- ・ 容器等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
 - ・ 地域の規則に従う。
-

14. 輸送上の注意

- ・ 陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合、法令に従って輸送する事。
 - ・ 内陸水路輸送 : 船舶安全法の定めに従う。
 - ・ 海上輸送 : 船舶安全法の定めに従う。
 - ・ 航空輸送 : 航空法の定めに従う。
-

15. 適用法令

- ・ P R T R法 : 該当しない
- ・ 消防法 : 該当しない
- ・ 労働安全衛生法(有機則含む) : 該当しない
- ・ 毒物及び劇物取締法 : 該当しない
- ・ 船舶安全法 : 該当しない
- ・ 航空法 : 該当しない

16. その他の情報

特になし

(注意) 危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意してください。